

災害なんかに負けない地域をつくろう！

東区明倫学区

避難行動マップ

この避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、明倫学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

指定避難所

- 1 明倫小学校
- 2 旭丘高等学校

イリヤ建設株式会社
一時的な避難場所の提供

株式会社 セイホウ
一時的な避難場所の提供。
エンジンカッター・ダンプカーによる救助・救援活動

1 明倫小学校
収容人員約580人

中北薬品株式会社
松軒支店
一般的な避難場所、
フォークリフト及び飲料水の提供

マックスバリュ
徳川明倫店
一般的な避難場所の提供

各ご家庭で、どの避難先へどのルートで避難するか、日頃から話し合うなどして決めておきましょう！

【地域の避難先例】

【延焼拡大した火災から避難する場合】
⇒指定緊急避難場所へ

【家屋の倒壊等又はそういった恐れのある場合】
⇒指定避難所へ

【液状化等で道路が冠水している場合】
⇒無理に通行しようとせず、冠水していない道路を迂回しましょう。

(お願い)
自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。

高齢者や障がいのある方など、自力で避難が難しい方は、地域で協力して避難先へ誘導しましょう。

車の使用はできるだけ避け、徒歩で避難しましょう。

お住まいの地域や災害時の状況によっては、他学区・他区の避難所に避難することもできます。

2 旭丘高等学校
収容人員約830人

気を付けて！

1. 空き家
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり。
2. 古いブロック塀
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない。
3. 狭い道
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり。



● 凡例

指定避難所	WC 下水道直結式仮設トイレ (マンホールトイレ)	AED (自動体外式除動器)	公衆電話
地域防災協力事業所	災害応急協力井戸 (一般)	応急給水施設	地下式給水栓
ユニバーサルゾーン	指定緊急避難場所	都市公園、どんぐりひろば	
学区境		区境	

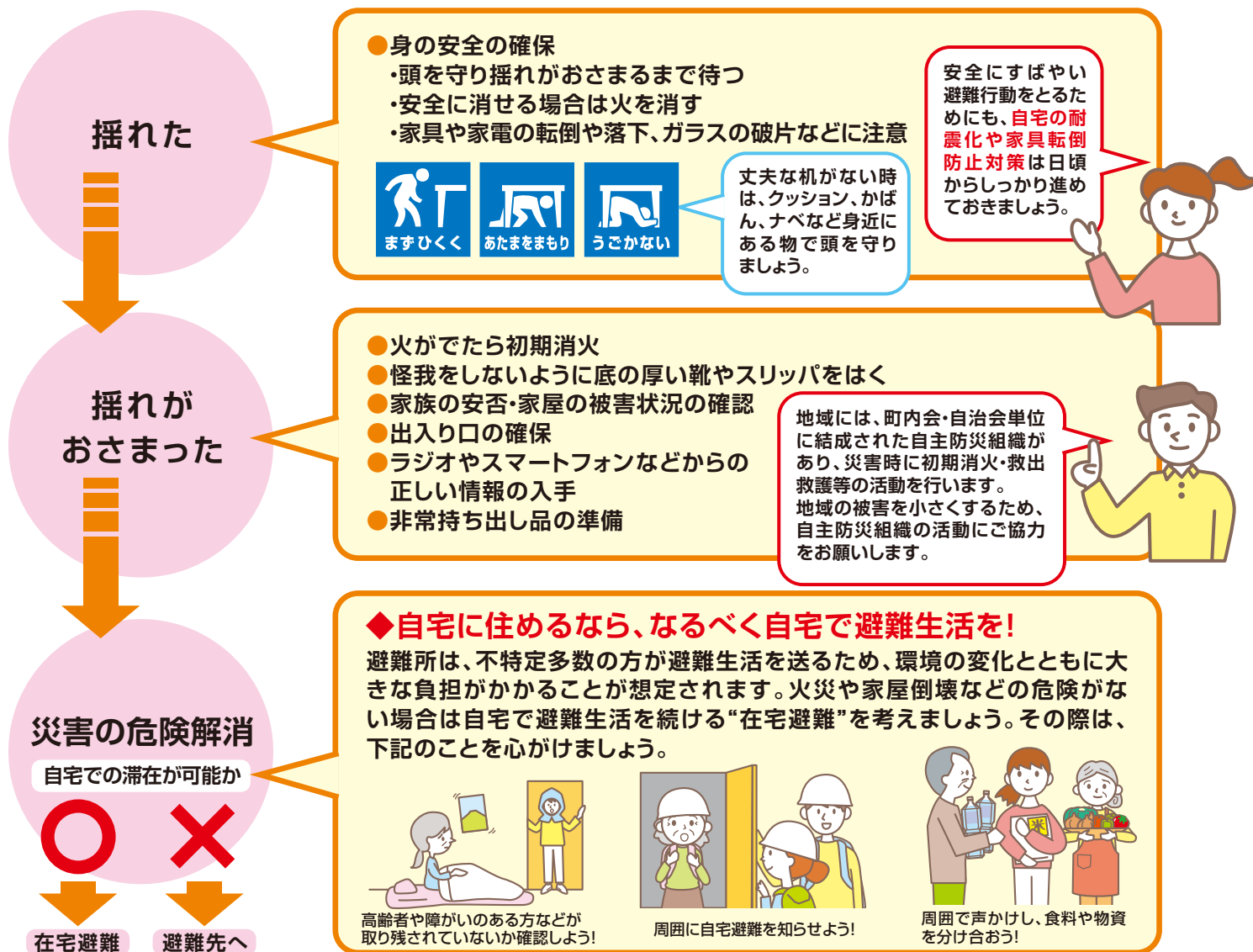
役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど
このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。
2. 地域防災協力事業所
災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。
3. 公衆電話
NTT が設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

東区明倫学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強ないし6弱**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。**揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。**また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなる可能性があります。さらに家屋やブロック塀の倒壊なども踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！災害時の対応



◆避難先へ安全に避難するための6つのポイント



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう**協力**しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。

対応方法



移動が難しい方

例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法



避難の時の豆知識

避難する時に持って行くもの 非常持ち出し袋を準備しましょう！

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

貴重品

- 現金（小銭も必要）
- 預（貯）金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

照明等

- 懐中電灯（電池含む）
- マッチ・ライター

医療用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ（ティッシュ）
- お薬手帳の写し

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

食料等

- 飲料水
- 食料（非常食・携帯食）

衣料品

- 衣類（着替え）
- タオル（大小2種類）



●地図面凡例説明

指定避難所 ビスケット、毛布などの備蓄品が配備されています。	家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に受け入れ、滞在させるための施設	応急給水施設 大地震発生時に、広域避難場所などにおいて飲料水を提供すると共に給水車の補給基地となる施設	地下式給水栓 地震時に避難者自らが操作し、飲料水を確保するための非常用の蛇口を備えた設備
災害応急用協力井戸（一般）	災害応急用井戸（事業所）	大地震発生時の生活用水確保を目的とし、市民、事業所などが持つ井戸のうち、災害時に地域住民に提供いただける井戸	
指定緊急避難場所	命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所（災害の種類ごとに異なる）	■地震のとき→明倫小（市立小・中学校）、旭丘高のグラウンド ■大規模な火事のとき→徳川園（広域避難場所） ■洪水・内水はん濫のとき→明倫小・旭丘高の屋内（指定避難所）	